

令和3年度 田んぼ大好きふるさと農村子ども絵画コンクール受賞作品の紹介

県内の子どもたちが農業・農村に関心を持ち、その大切さや将来のあり方について考えるきっかけとなるよう、県内の小学5年生を対象に絵画コンクールを実施しました。

本年度は、48の小学校から計387点の応募があり、厳正な審査の結果、10作品を知事賞などに選出しました。

■知事賞■



「田んぼにこうのとりが来た！」
長浜市立永原小学校
葛城 心美 さん

■県教育長賞■



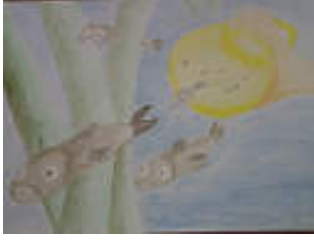
「初めての田植え」
彦根市立城南小学校
北村 昇吾 さん

■琵琶湖と共生する滋賀の農林水産業推進協議会長賞■



「田んぼと生き物」
愛荘町立秦荘東小学校
向角 宗泰 さん

■大津・南部農業農村振興事務所長賞■



「ち魚を放流！」
草津市立常盤小学校
重永 廉介 さん

■滋賀県世代つなぐ農村まるごと保全推進協議会長賞■



「ぐるぐる脱穀機」
守山市立守山小学校
安藤 琴音 さん

■甲賀農業農村振興事務所長賞■



「田植えのあとの夕焼け」
甲賀市立水口小学校
森井 咲空 さん

■東近江農業農村振興事務所長賞■



「私の祖父の畑」
東近江市立八日市北小学校
小澤 琉楓 さん

■湖東農業農村振興事務所長賞■



「ありがとう、ぼくのお米」
彦根市立若葉小学校
福原 快悠 さん

■湖北農業農村振興事務所長賞■



「どろどろになったぼく」
米原市立坂田小学校
渡辺 悟司 さん

■高島農業農村振興事務所長賞■



「ぼくの好きな田んぼ」
高島市立新旭北小学校
北山 敦也 さん

編集後記

★早いもので今年も師走を迎えてしまいました。今年の冬は、太平洋赤道域の日付変更線付近から南米沿岸にかけて海面水温が平年より低くなる「ラニーニャ現象」となる可能性が高いそうです。この場合、過去の例として寒い冬となり大雪になることが多いようです。備えは万全にしましょう。(A.W)

まるごとだより 第49号

にぎわいある農村をみんなで守り育てよう



『令和3年度 第1回 農村まるごと保全技術研修会』を開催しました

令和3年10月7日(木)、東近江市の「能登川コミュニティセンターホール」にて、標記研修会を開催したところ、県内各地より約100名のご参加をいただきました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、ご参加いただける人数の制限と当日ご参加いただけなかった皆さんには講演の様子を録画し、後日『YouTube』にアップしたものを視聴いただく方法の併用での開催でした。

何かとご不便をおかけして申し訳ありませんでした。

※当日の資料は協議会のHPに掲載していますので是非ご覧ください。

目次

☆『令和3年度 第1回 農村まるごと保全技術研修会』を開催しました

☆制度の拡充および見直しについて

☆令和3年度 田んぼ大好きふるさと農村子ども絵画コンクール受賞作品の紹介

発行 (2021.12)

滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全推進協議会

〒521-1224

東近江市林町601番地
水土里ネット滋賀内

電話 0748-42-4806
FAX 0748-42-5574

Email: kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com



講師の小林圭介氏



講師の中井克樹氏

滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課主幹、滋賀県立琵琶湖博物館専門学芸員の中井克樹氏より、『外来動植物の農地への侵入と駆除について』と題してご講演をいただきました。『県内でも侵略的外来種は強力な繁殖力で拡散し、水路内の繁茂による通水障害や、農地内に侵入し営農の妨げとなっているのが現状。その特徴や適切な駆除の方法を学び、更なる分布の拡大を抑えることは喫緊の課題である。』という趣旨の講演をしていただきました。

当日は、皆様のご協力をいただき入場者数の制限や、マスクの着用、入場者の検温、間隔を空けての着席などの新型コロナ対策を実施した上で開催させていただきました。



当日会場参加の皆様

滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全推進協議会

- 本協議会は、活動組織への支援として技術研修会の開催や情報発信などを行っています。
- 書類作成にかかる参考資料や活動事例などの情報をホームページでお知らせしています。

農村まるごと

検索

<https://www.shiga-nouson-marugoto.com/index.html>

Email: kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com

